

令和7年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 1 子どもたちに輝く未来をつなぐ

主要課題	No. 5	子どもの健康・体力の向上
------	-------	--------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ● 主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の 目指す姿	子どもたちが、運動やスポーツに取り組むことができる環境の整備が進み、運動・スポーツに親しみ、また、基本的な生活習慣が定着・改善することで、健康への意識や体力が向上している。
計画期間 の方向性	○児童・生徒の運動機会の充実 小学校における体力アップトレーナーや中学校におけるテクニカルトレーナーの配置・部活動指導員による指導支援により、計画的に体力・運動能力の向上に取り組むとともに、土日などを活用した学校以外での運動機会を提供します。 ○幼児の運動機会の確保 幼稚園や保育園の活動において「幼児教育・保育カリキュラム」を活用し、遊びの中で体を動かすことを定着させ、「生きる力の基礎」の育成に取り組みます。 ○基本的な生活習慣の定着・改善 運動や健康に関する保護者や地域への意識啓発や、学校における食育等を通して、子どもたちの健康的な生活習慣の定着・改善に取り組みます。

事業費（令和6年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で何をしたか（実績）	戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。
------------------------------	---

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割							事業費(千円)
24	健康・体力増進事業	教育センター	子どもたちの運動に親しむ意欲を高め、基本的な生活習慣の習得と健康・体力の向上を図る。							38,595千円 (40,346千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 小学校への体力アップトレーナーの派遣		校	20	20	20				
	② 体力向上イベント参加者数		人	59	52	58				
	③ 健康教室の参加者数		人	中止	中止	3				
	R5(2023)	体育授業や体育的活動の補助等を行う人材を全小学校へ配置するとともに、児童が遊びや運動そのものの楽しさや面白さを感じるイベントを行いました。健康教室の開催については感染症対策の視点で中止し、文京区教育だより「きあら」にコラムを掲載し、健康についての情報発信を行いました。								
	R6(2024)	体育授業や体育的活動の補助等を行う人材を全小学校へ配置するとともに、児童が遊びや運動そのものの楽しさや面白さを感じるイベントを行いました。文京区教育だより「きあら」への健康と体力向上に関するコラムの掲載及び健康教室を開催し、保護者等に向けた情報発信に取組みました。								
25	中学校部活動支援	教育指導課	子どもたちの部活動を充実させ、運動の機会を確保する。							105,326千円 (139,754千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 部活動指導員による部活動の指導・運営		人	63	68	75				
	② 部活動指導補助員による部活動の指導・運営		人	72	76	61				
	R5(2023)	部活動指導員、部活動指導補助員を各中学校へ配置することで、部活動の充実を図りました。								
R6(2024)	部活動指導員、部活動指導補助員を各中学校へ配置することで、部活動の充実を図りました。									
26	スポーツ振興事業	スポーツ振興課	子どもたちのスポーツに親しむ意欲を高め、健康・体力の向上を図る。							28,779千円 (45,052千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	
	① 学校でのハンドボール出前授業、ブラインドサッカー体験授業(スボ育)実施校		校	21	25	29				
	② 障害者スポーツ事業参加者数(パラスポーツボッチャ体験、ユニバーサルスポーツ体験等)		人	1,262	952	830				
	③ 大規模スポーツイベント「Bunkyo Sports Park」参加者数(延べ)		人	—	8,394	11,253				
	R5(2023)	小・中学校での出前授業を行うとともに、大規模スポーツイベント「Bunkyo Sports Park」の開催などにより、子どもたちがスポーツを楽しみ、親しむことのできる機会を提供しました。								
	R6(2024)	ハンドボール、ブラインドサッカーの出前授業を小・中学校で行うとともに、様々なスポーツを体験することのできるBunkyo Sports Parkの開催等により、子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供しました。								

文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践		幼児保育課	区立保育園と区立幼稚園の子どもたちの、運動の機会を確保する。						0千円 (172千円)
主な取組実績									
15	R5 (2023)	幼児教育・保育カリキュラムにある年齢別のねらいを基に、各園で工夫して遊びの中に年齢に応じた運動を取り入れ、体を動かして遊ぶ楽しさや運動機能の向上に資する活動に取り組みました。							
	R6 (2024)	幼児教育・保育カリキュラムにある年齢別のねらいを踏まえて、各園で工夫して遊びの中に年齢に応じた体験を取り入れ、興味・関心を広げ、豊かな感性を育む活動に取り組みました。							
和食の日推進事業		学務課	食育により、子どもたちの基本的な生活習慣を定着させる。						16,880千円 (18,769千円)
主な取組実績			単位	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
① 全区立小中学校の学校給食における「和食の日」の実施			回	12	12	12			
② 日本茶教室の実施			校	中止	1	1			
27	③ 交流自治体の旅給食の実施			回	1	1	1		
	R5 (2023)	和食の保護・継承のため、食材の補助を行い、毎月全校で「和食の日」給食を実施しました。							
	R6 (2024)	各校で毎月「和食の日」給食を実施し、児童生徒や保護者に向けて和食の良さを示しています。小学校で日本茶教室を実施し、緑茶の美味しさを再確認しました。 区と協定を締結し交流している上天草市の湯島から希少野菜である湯島大根を購入し、全校で給食に使用しました。給食の時間に、上天草市とそこで収穫される食材について学びました。							
●特記事項（実績の補足）									

2 社会ではどのような動きがあったか (社会環境等の変化)		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
令和4年6月から物価高騰対応として区が給食費の補助を開始、令和5年9月からは給食費を無償化しました。6年12月から7年3月までは米価高騰対応として学校へ精米の現物支給をしました。令和7年4月から食費単価を2割ほど上げています。 「中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）」の検討を行いました。		

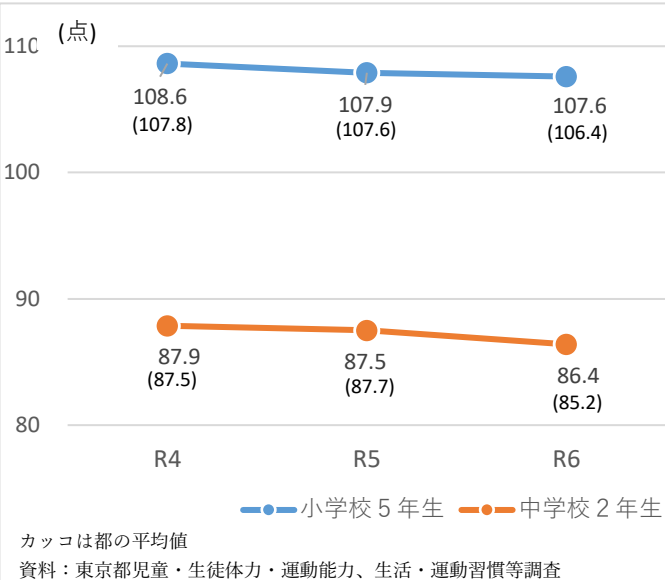
3 成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
○児童・生徒の運動機会の充実	
小学校全校に体力アップトレーナーを派遣するとともに、中学校全校に運動領域において優れた技能や指導力を有するテクニカルトレーナーを派遣し、体育授業における児童・生徒の意欲向上に取り組みました。引き続き、体育科の授業を通して児童・生徒が運動に親しむことができるよう、人材を派遣することが課題です。 部活動指導員については、専門的な指導により生徒の意欲や技術が向上しました。専門性のある人材が増えており、生徒の技術向上を図ることができていますが、指導員が必要な部活動すべてで確保できているわけではないため、引き続き指導員の確保に向けた広報等に努めていきます。 また、部活動の地域展開については令和5年度に行った児童・生徒・保護者アンケートを活用し、4回の検討会議で今後の方向性について協議しました。8年度から実施予定の「休日の合同部活動」の実施に向けて、引き続き関係機関と連携をしていきます。 区立小・中学校にて、東京2020大会のレガシー事業である「ハンドボール出前授業」やパラスポーツの普及啓発を目的とした「ブラインドサッカー体験授業」を実施し、子どもたちがスポーツに親しみ、関心を高め、運動を行う機会を提供することができました。 今後も継続的に実施し、子どもたちのスポーツへの興味・関心をさらに高めていくことが求められています。	
○幼児の運動機会の確保	
日本女子大学と連携し、各園における幼児期の体力の維持向上に係る課題の解決に向けた支援を行うとともに、体力向上イベントを実施し、運動機会の提供に取り組みました。また、区立幼稚園全園に日本コオーディネーショントレーニング協会公認講師を年2回派遣しました。引き続き、幼児期において、日常生活の遊びを通して体を動かす楽しさを味わう機会を提供する必要があります。 年齢・性別・体力等に関わらず、様々なスポーツを体験することができるスポーツイベントであるBunkyo Sports Park2024の開催等により、子どもたちが運動を行う機会を提供しています。 今後とも、積極的に運動遊びを保育の中に取り入れ、幼児期の運動機能の発達を促していく必要があります。	

○基本的な生活習慣の定着・改善

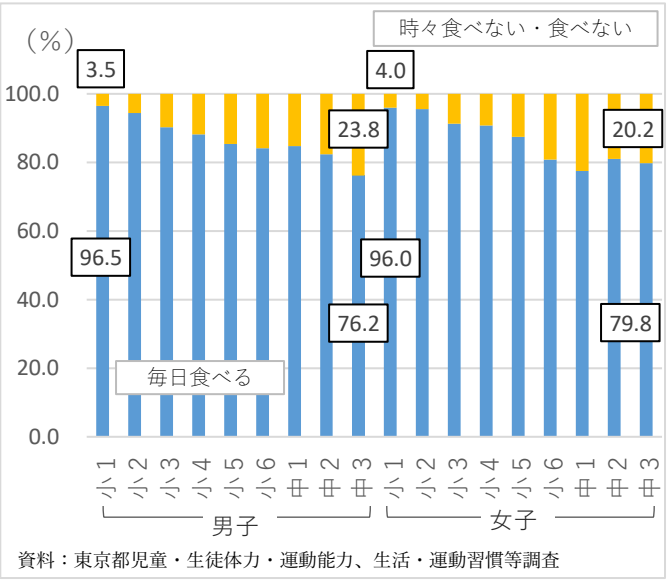
文京区教育だより「きあら」に健康と体力向上に関するコラムを継続的に掲載するとともに、「運動やスポーツが上手くなるための脳と身体のかみ」をテーマとした健康教育を実施し、健康についての情報発信を広く行いました。引き続き、子どもの健康的な生活習慣について、より広く啓発していく必要があります。

年齢・性別・体力等に関わらず、様々なスポーツを体験することができるスポーツイベントであるBunkyo Sports Park2024の開催や区内まつり会場でのボッチャ体験ブースの設置等により、多くの区民がスポーツに触れる機会を提供し、子どもとともに保護者の運動・健康への意識啓発を図りました。今後も事業を継続し、さらに運動・健康への興味関心を高めていく必要があります。

●体力合計点の実績値の推移



●朝食摂取の有無（R 6）



【SDGsの視点】

	和食文化は健康的な食事として世界的にも注目されています。次世代を担う子供たちが和食の良さを理解し、和食の保護・継承と情報発信ができるよう、区立小中学校の給食で毎月「和食の日」に取り組んでいます。 Bunkyo Sports Park2024の開催にあたっては、スポーツを行うことで健康を維持し、心身ともに満たされたライフスタイルにコミットすることを目指し、年齢、性別、体力、障害の有無等に関わらず誰もがスポーツに触れることができるよう、多様なスポーツ体験ブース等を設置し、スポーツに親しめるよう努めました。
	文京区内の大学との連携や協力を得ながら、子どもたちが、運動やスポーツに取り組むことができる環境の整備を進め、運動・スポーツに親しみ、また、基本的な生活習慣が定着・改善することで、健康への意識や体力が向上できるよう継続的に取り組んでいます。 幼児期に必要な遊びを通じた「生きる力の基礎」を育て、就学前から小学校への接続を円滑にしていくことに努めています。

4 今後どのように進めていくか（展開）

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。

幼児期の運動機会を確保するため、引き続き「幼児教育・保育カリキュラム」を活用し、遊びの中で体を動かすことを定着させることで、「生きる力の基礎」の育成に取り組みます。

体育科の授業を通して児童・生徒が運動に親しむことができるよう、人材を派遣するとともに、子どもの健康・体力の向上の取り組みについて、保護者も含めより広く啓発していきます。

「文京区立中学校部活動地域移行実施計画2026（素案）」に基づき、休日の合同部活動の推進、教員・保護者・地域の理解促進及び新たな種目での合同部活動の実施などに取り組んでいきます。

「和食の日」給食を毎月実施することを継続し、食文化の継承や健康的な和食への理解を深めていきます。

区立小・中学校でのハンドボールおよびブラインドサッカー出前授業、Bunkyo Sports Parkを継続実施することにより、子どもたちをはじめ、区民の運動・健康への関心を高めていきます。